

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みんなの木松原		
○保護者評価実施期間	2026年3月1日		2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		2026年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○充実したプログラム活動 ・「1人1人のお子様に笑顔を届けます」という理念の基 お子様が楽しんで通える活動が提供できている。	・日々のレクリエーション活動に対して前もって準備し、目標や ルールを定め、実行し必ず振り返りを行っている。 ・毎月子どもたちからの「やりたい事」を聞き取り、プログラム に入れている。	・子どもたちが主体となってチーム割り振りや ルールの設定を増やしていきたい。 ・写真や手紙等でSNS (Instagram、Facebook) での 発信や送迎時に活動の様子をお伝えしていく。
2	○専門性の高い支援員 ・資格を持つ職員が常勤で支援にあたっている。 ・職員が働きやすく、やりがいを持って継続して勤務できるよ	・スタッフミーティングを月1回行い気づいた事を話し合っ たり、学びや理解を深める機会を設けている。 ・外部やzoomの研修に積極的に参加している。	・更なる専門性向上そして職員間のコミュニケーションを 協働を強化するために外部研修で学んできたことを共有できる場 を設定し、組織全体の連携と効率性を図る。
3	○構造化・視覚提示による環境が整っている ・空間を活動目的ごとに分けている。 ・自発的に行動できるように絵カードや分かりやすく提示して いる。 ・室内は常にきれいにすることで清潔感を保っている。	・分かりやすいスケジュールの提示をし、区切りのタイマーを設 定し、活動を切り替えやすくしている。 ・読書をしたり休んだり落ち着いて過ごせる小部屋がある。 ・学習や宿題に集中できる勉強部屋を設けている。 ・掃除の時間を設け、子どもたちと支援員が協力して取り組み清	・PECSやスケジュールボード等を職員全員が使用できるよう研 修の場を設けていく。 ・掃除を通して、自分の使用した場所をきれいにする方法を学 び、ポイント制を用いることで働く力等生活スキル向上に努めて いく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との連携やコミュニケーションの機会が少ない。	・10人前後の人数になるため地域のイベントに参加しにくい。 ・セルフプランがほとんどないため連携がとりにくい。	・放課後等デイサービスだけではなく福祉サービス全体で連携 し、地域を盛り上げていきたい。
2	・日々の個別の相談への対応はできるが、保護者様に活動の様 子を見ていただく機会が少ない。	・コロナウイルス流行後から親の会を開催できていない。 ・お仕事をしている保護者様が多く参加人数が少ない。 ・全体で集まる時間の確保が難しい。	・今後、行事などで交流のタイミングを設けていき、 子どもを交えて参加しやすい雰囲気や環境を作っていきたい。 ・発表会など保護者様に来てもらう機会を作っていきたい。
3	1人の児童が不調和になってしまうと他の児童も崩 れてしまうケースが多々ある	一つの部屋で児童全員を見ていること	場面に応じて環境を区切ったり、その日調子の悪い児 童に個室を設けるなどのたいさくをしていく